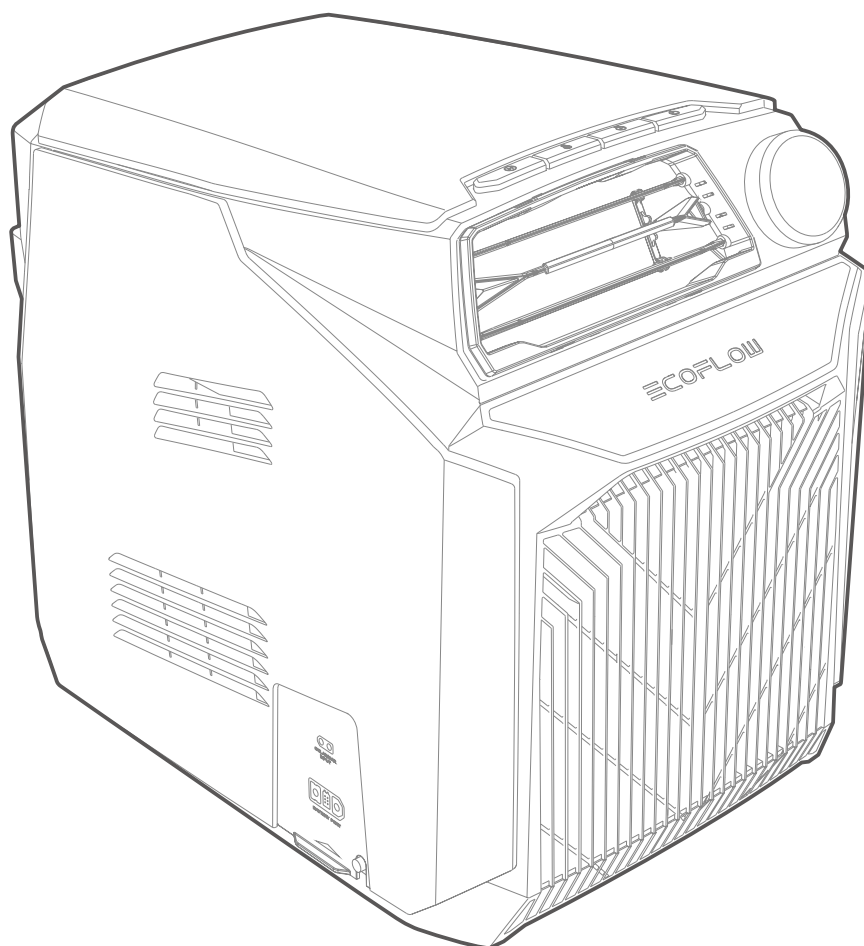


ECOFLOW

EcoFlow WAVE | 取扱説明書



免責事項

製品使用前に本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。誤った取り扱いをすると、お客様ご自身または他者へ重度の傷害を与える可能性や、製品破損故障または財産損失等を引き起こす場合があります。製品を使用した時点で、本ユーザーマニュアル内のすべての条項および内容を理解したうえで同意したものとします。

お客様自身の行為およびそれにより生じるすべての結果に対して、EcoFlowは、一切の責任を負わないものとします。

法規制に従い、EcoFlowは本ユーザーマニュアルおよび本製品に関連するすべての資料の最終的な解釈の権利を有します。資料の更新、バージョン変更、サービス終了が生じる場合においても、お客様に対して通達を行いませんので、EcoFlow公式Webサイトにアクセスして最新版の製品情報をご確認ください。

目次

1. スペック	1
2. 安全ガイドライン	2
3. スタートガイド	3
3.1 外観の説明	3
3.2 LCD 画面のアイコン	4
3.3 製品の使用方法	4
3.4 AC 電源	8
3.5 ソーラー充電	8
3.6 車両充電	8
3.7 バッテリーパックの接続	9
3.8 アプリの使用	10
3.9 取り付け	10
3.10 使用例	13
4. よくある質問	15
5. 故障表示と対応方法	17
6. 同梱物	18
7. お手入れ	18

1. スペック

一般情報

モデル番号	EFH200
重量	17.5kg
寸法	518 x 310 x 416 mm
Wi-Fi	対応
Bluetooth	対応

入力仕様

AC 入力電圧/周波数	100-240V ~ 50/60Hz
AC 入力電源	最大700W
バッテリーパック電源	最大600W
ソーラー充電入力	11-35 V $\Rightarrow$ 最大12A 最大200W
車両充電入力	12V/24V $\Rightarrow$ 最大8A 最大200W

冷却仕様

周囲温度	5°C ~ 50°C (41°F ~ 122°)
冷却温度設定	16°C ~ 30°C (60.8°F ~ 86°F)
冷却能力	1200W
循環空気量	290m ³ /h
冷媒/量	R134a/0.4kg
冷却入力電力 (AC/DC)	460W/410W
最大冷却力	600W
騒音	55dB 未満
ドレンフリー機能	対応
満水シャットダウン機能	対応

その他の仕様

EcoFlow Wave バッテリーパック	対応
EcoFlow DELTA Max ポータブル電源	対応
EcoFlow DELTA Max バッテリーパック	対応
EcoFlow DELTA Pro ポータブル電源	対応
EcoFlow DELTA Pro バッテリーパック	対応

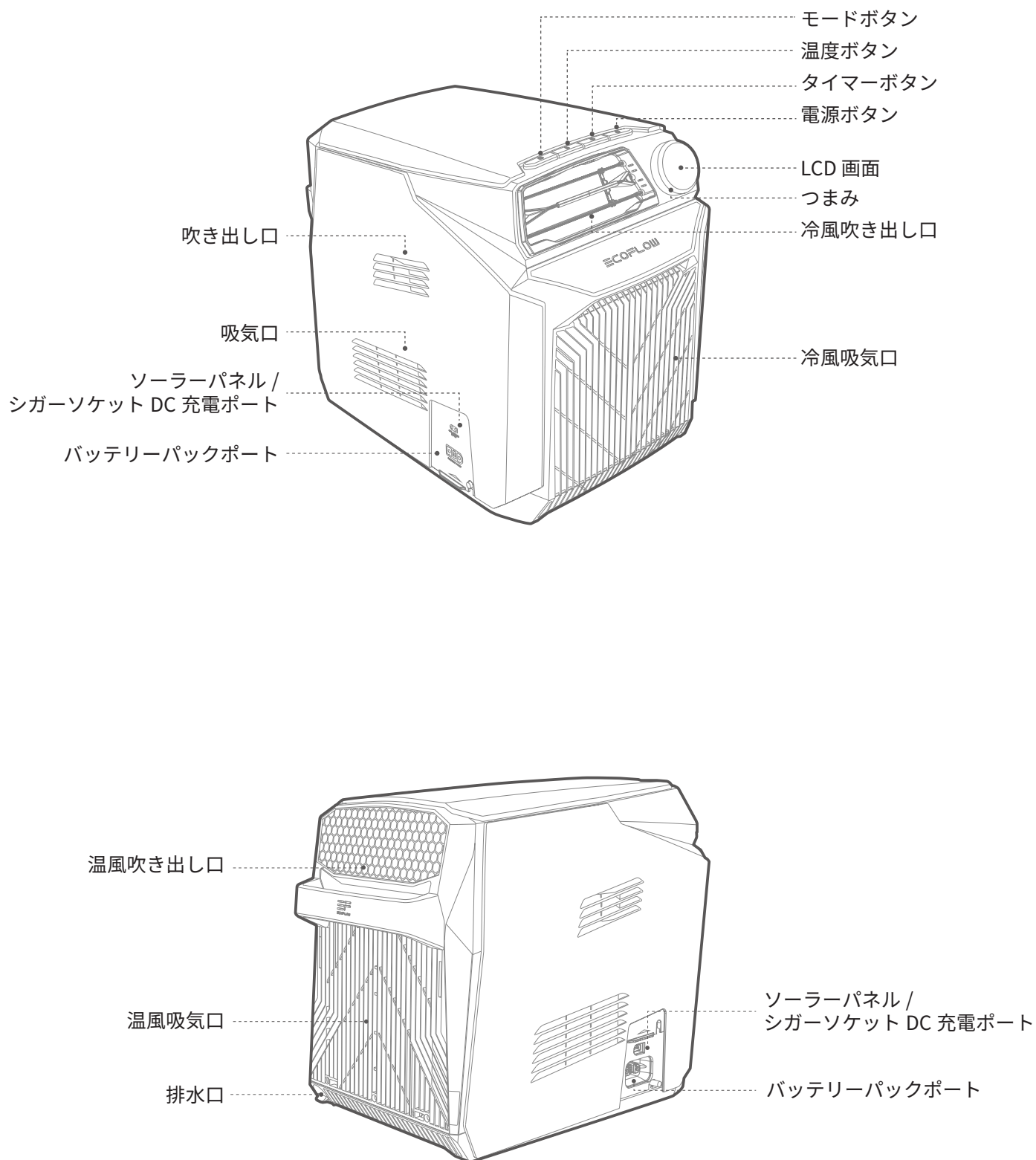
このデバイスには、型式承認コード CMIIT ID:2021DP3313 の無線送信モジュールが含まれています。

2.安全ガイドライン

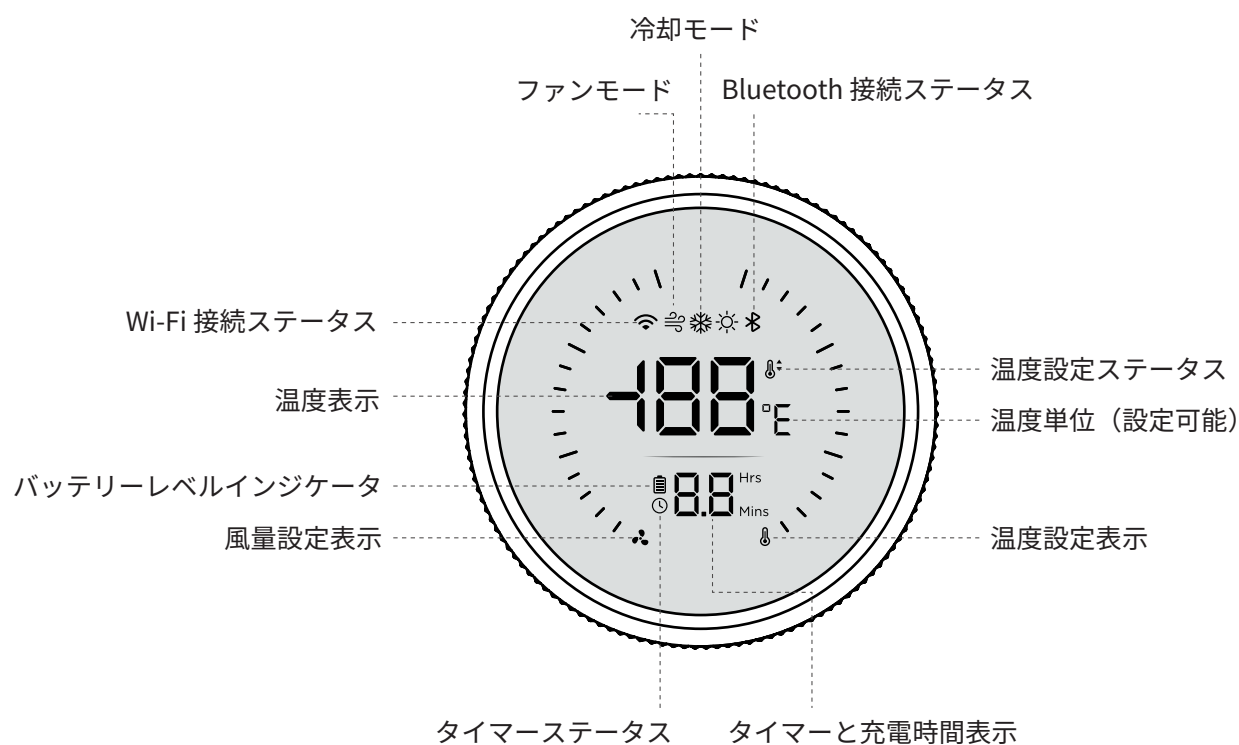
1. 本製品は、火や熱源などの熱源の近くに設置することは固く禁じられています。
2. 静電気を帯びた環境または強い磁場の環境で本製品を使用することは禁じられています。
3. 本製品はいかなる方法であれ、分解したり鋭利なもので穴をあけたりしないでください。
4. 短絡の原因になるので、本製品は電線または他の金属と接触しないようにしてください。
5. EcoFlow 純正のコンポーネントやアクセサリを使用してください。交換が必要な場合は、EcoFlow の公式販売チャネルにアクセスして、関連する購入情報を確認してください。
6. 本製品の上に、重いものを置くことは固く禁じられています。
7. 衝撃、転倒、落下、強い振動を避けてください。外的影響が大きい場合は、直ちに電源をオフにし、製品の使用を中止してください。振動や衝撃を防ぐために、搬送時には製品を適切に固定してください。
8. 本製品は、転倒による損傷を防ぐために慎重に取り扱ってください。製品が転倒してひどく損傷した場合は、直ちに電源をオフにしてください。
9. 本製品の吸気口と排気口を塞ぐまたは遮ることは固く禁じられています。
10. コンプレッサが損傷するおそれがあるため、本製品を横倒しにすることは固く禁じられています。
11. 本製品は子どもやペットの手の届かないところに置いてください。使用中はお子様を監督し、お子様が本機で遊ばないようにしてください。
12. 本製品は、乾燥した換気の良い場所に保管してください。
13. 本製品のインターフェイスが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
14. 本製品を雨や日光にさらさないでください。
15. 本製品は慎重に取り扱ってください。誤って転倒した場合は、6 時間使用せずに置いておく必要があります。
16. 使用中にファンの動作を強制的に阻止することは禁止されています。
17. ファンが損傷するおそれがあるため、ファンの吸気口や排気口内に異物を落とさないでください。
18. 本製品の吸気口と吹き出し口は、壁から 0.5 m 以上離してください。
19. 電源ケーブルが破損している場合、怪我の恐れがありますので、ただちに使用を中止し、新しいケーブルと交換する必要があります。
20. 本製品を水に浸したり濡らしたりしないでください。雨や湿気の多い状況、環境では、本製品を使用しないでください。
21. 集合住宅等で本機をご使用の場合、近くの無線機器とお互いの電波が干渉する可能性があります。

3. スタートガイド

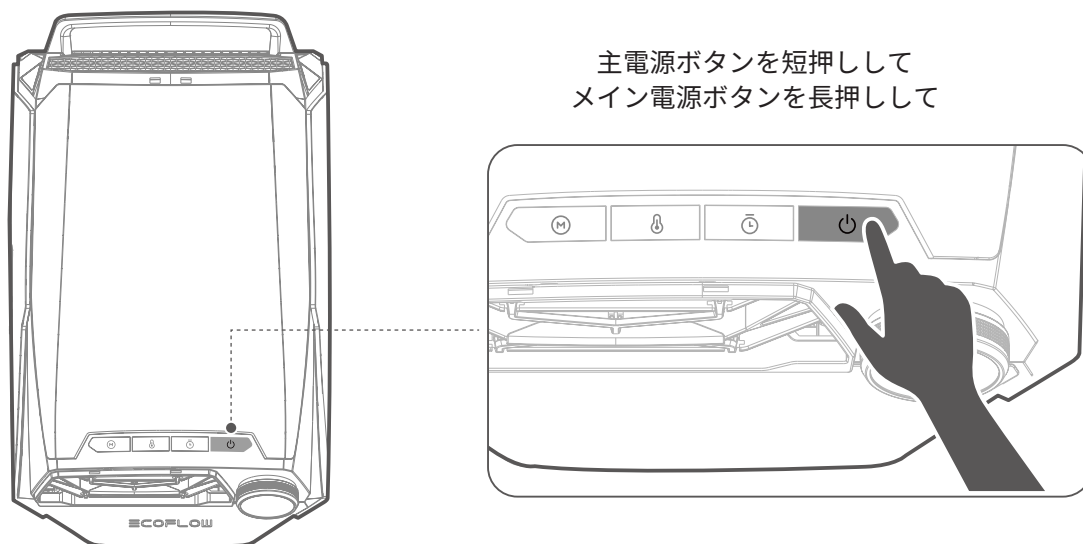
3.1 外観の説明



3.2 LCD 画面のアイコン



3.3 製品の使用方法



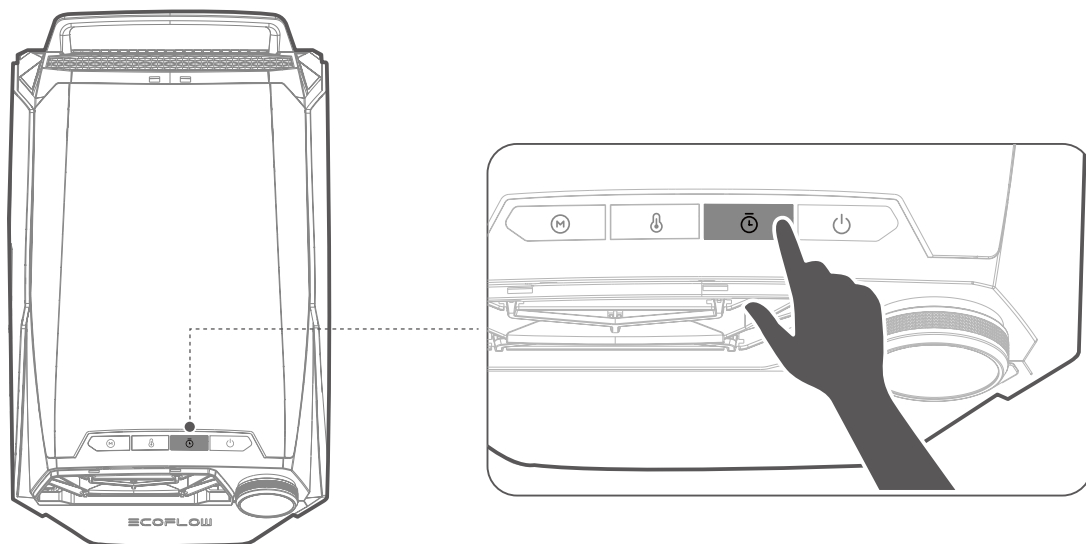
主電源ボタンを短押しして、デバイスの電源をオンにします。デバイスが起動すると、LCD 画面が点灯し、メイン電源インジケータランプが点滅します。

アイドル状態で何も操作せずに 5 分間経過すると、製品はスリープモードに入り、LCD 画面は自動的にオフになります。その後で製品を操作すると、LCD 画面が自動的に点灯します。LCD 画面をオンまたはオフにするには、メイン電源ボタンを短押ししてください。

メイン電源ボタンを長押しして、本機の電源をオフにします。

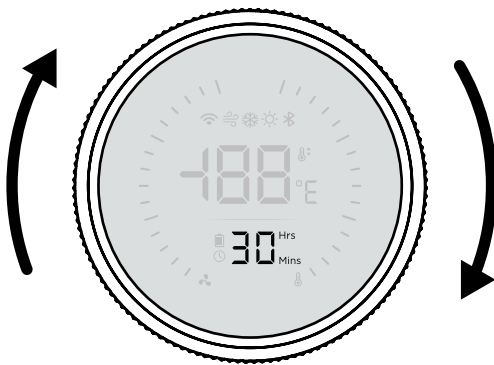
バッテリーパックが唯一の電源である場合、メイン電源ボタンを押し続けると、バッテリーパックもオフになります。

タイマーの設定



タイマーボタンを短押しします。タイマーアイコンと時間が点滅し、タイマー調整インターフェイスに切り替わったことを示します。つまみを回して時間を調整します。時計回りに回すと時間が長くなり、反時計回りに回すと時間が短くなります。

AC 電源に接続されている場合、本機はタイマー設定時間になると自動的に運転を停止します。バッテリーパックのみに接続されている状況では、液晶画面に表示される充電時間がタイマー設定時間よりも長い場合、本機は自動的に運転を停止します。一方、液晶画面に表示される充電時間がタイマー設定時間を不足している場合、バッテリーのアルゴリズムが冷却力と駆動時間を自動で算出・調整し、タイマー設定された稼働時間を確保します。

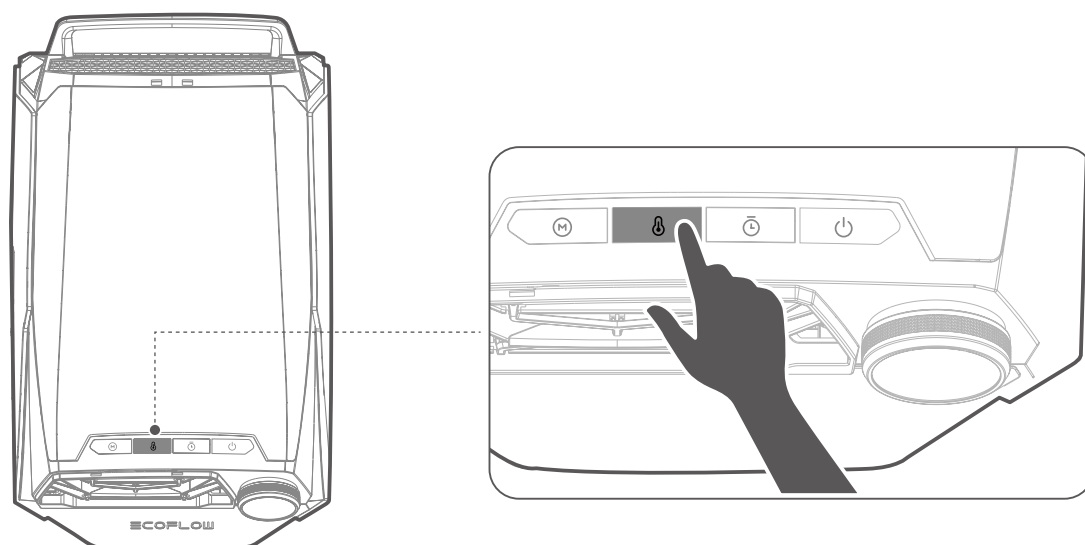


時計回りに回すと時間が長くなります



反時計回りに回すと時間が短くなります

温度の設定



温度ボタンを短押しします。温度アイコンと温度が点滅し、温度調整インターフェイスに切り替わったことを示します。日本では、つまみを時計回りに回すと温度が上がり、反時計回りに回すと温度が下がるのが一般的です。



初期設定は風量です
時計回りに回すと風量が強くなります



初期設定は風量です
反時計回りに回すと風量が弱くなります

温度単位の設定

温度ボタンを3秒間押し続けて、温度の華氏と摂氏を切り替えます。

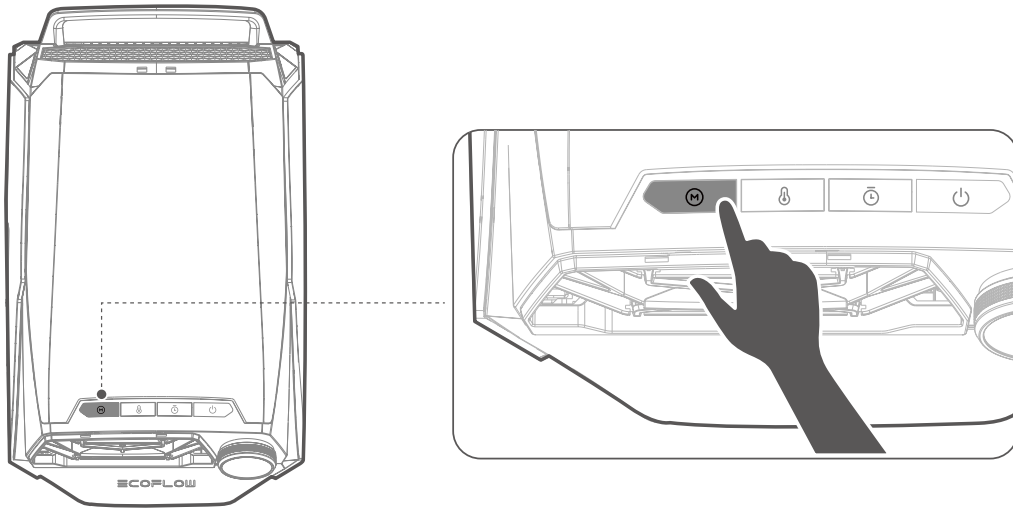


摂氏

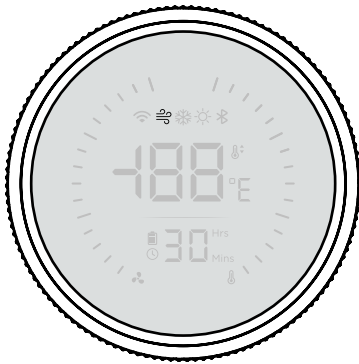


華氏

操作モードの設定



モードボタンを短押しすると冷却モードに切り替わります。もう一度短押しするとファンモードに切り替わります（ファンモードは、車両充電モードまたはソーラー充電モードでのみ使用できます）。



ファンモード



冷却モード

ドレンフリー機能

この製品には、蒸発器から凝縮器に凝結水を噴霧して熱の放散と蒸発を行う、自己蒸発、ドレンフリーシステムが装備されているため、湿度の低い環境では頻繁に排水する必要がありません。

注：一部の水滴は蒸発しないことがあり、ホットゾーンの排気口から水滴が少し吹き出すのは正常です。ドレンフリー機能では、ほとんどの凝結水が排出されますが、少量の水が底に残る場合があります。バクテリアが繁殖する可能性のある水が残らないように、使用しないときは機器を少し傾けて、排水ポートから残った水を完全に排出します。

満水シャットダウン機能

本製品には、満水になったときにシャットダウンする機能が装備されています。周囲の湿度が高いと、エアコンの結露はドレンフリーシステムで完全に排出されず、内部の水位が徐々に上昇します。本機には、水が過剰に溜まらないようにするオーバーフローがあります。あらかじめ設定された水位に達すると、この機能が作動して機器をシャットダウンし、排水チューブを接続して手動で排水するようにユーザーに指示します。

注：本製品を傾けると、水位の検出に影響を与える可能性があります。過度に傾けると、水位が不正確に検出され、不要なシャットダウンが発生したり、満水になってもシャットダウンしなくなったりする可能性があります。使用中、製品はできるだけ水平に配置する必要があります。

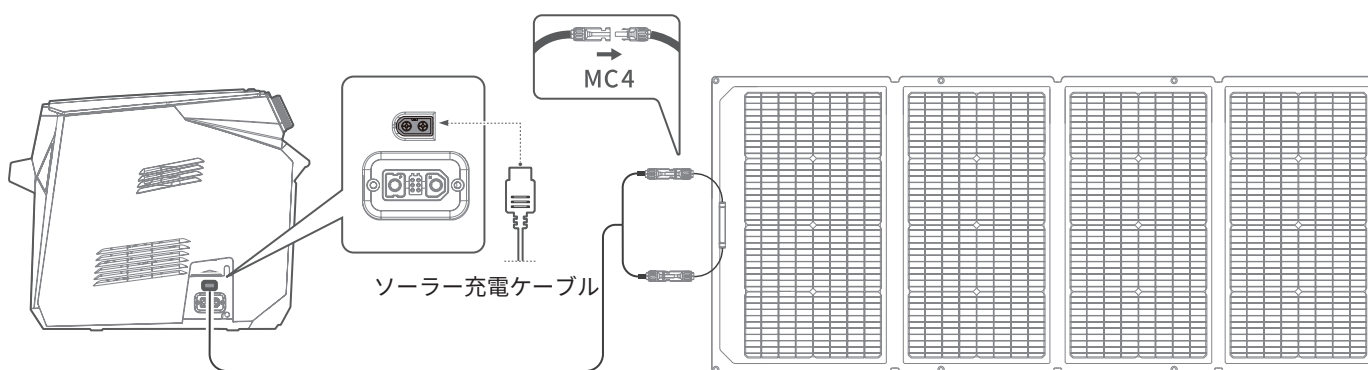
3.4 AC 電源

AC 電源は、AC コンセントに接続することも、本製品を充電することもできます。

本製品が AC 電源に接続されている場合は、主電源ボタンを押し続けると、装置がスタンバイモードになります。バッテリーパックが接続されている場合、バッテリーパックは最大電力で充電されます。

本製品が AC 電源に接続されている場合、主電源ボタンを短押しすると、デバイスは正常に動作します。バッテリーパックが接続されている場合、本製品は内蔵バッテリーのアルゴリズムを使用して優先的にポータブルクーラーに電力を供給し、同時にバッテリーパックを最適な電力で充電します。

3.5 ソーラー充電

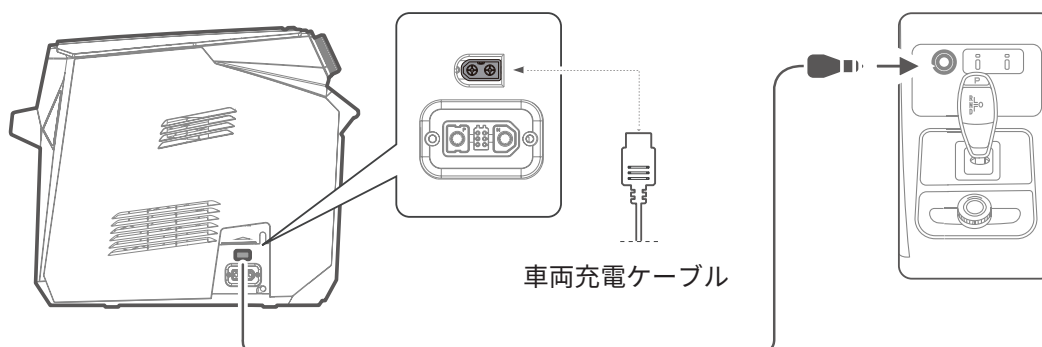


本製品は太陽エネルギーを電力にすることができます。本製品がスタンバイモードのときにバッテリーパックが接続されている場合、バッテリーは最大 200 W で充電できます。

動作状態はポートの電力によって制限され、独立した電源が供給されている場合にのみファンモードで動作できます。他の電源（バッテリーパック、AC 電源）に接続しているときに制限はありません。バッテリーパックが接続されている場合、本製品はファンモードで動作し、バッテリーを同時に充電できます。

推奨事項：可能であれば、車両充電またはソーラー充電を使用するときは、バッテリーパックを接続してください。

3.6 車両充電



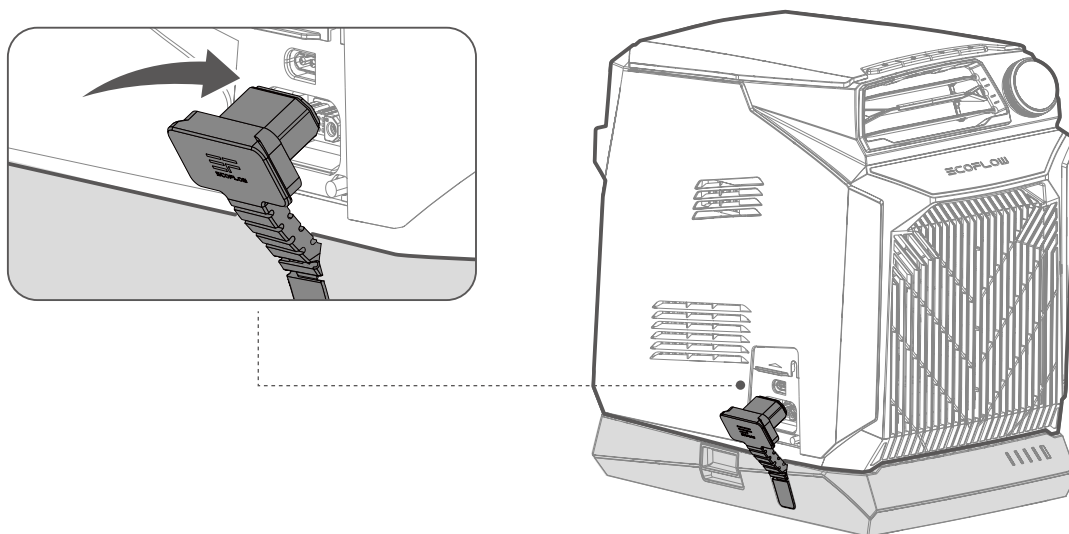
本製品には、車両充電コネクタを介して電源を供給できます。このコネクタは、スタンバイモード時の充電に最大 8 A（12 V/24 V をサポート）の電流を供給できます。

動作状態はポートの電力によって制限され、独立した電源が供給されている場合にのみファンモードで動作できます。他の電源（バッテリーパック、AC 電源）に接続しているときに制限はありません。バッテリーパックが接続されている場合、本製品はファンモードで動作し、バッテリーを同時に充電できます。

推奨事項：可能であれば、車両充電またはソーラー充電を使用するときは、バッテリーパックを接続します。

3.7 バッテリーパックの接続

EcoFlow Wave 専用バッテリーパック

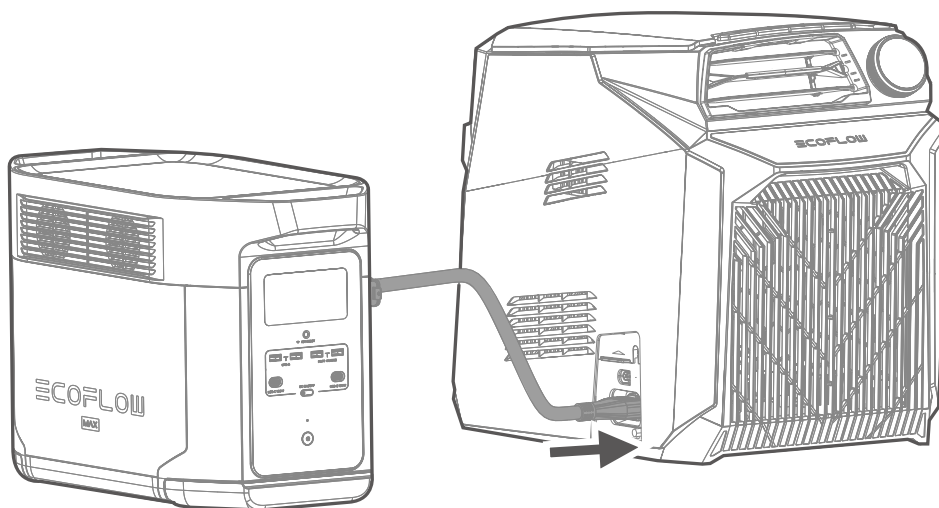


メインユニットをバッテリーパックの上部に置き、所定の位置にスライドさせます。カチッという音がすれば、メインユニットがバッテリーパックに正しく接続されています。次に、バッテリーパックプラグをポータブルクーラーのバッテリーパックコネクタに差し込みます。

(詳細については、バッテリーパックの説明を参照してください)

EcoFlow バッテリーパック：DELTA Max ポータブル電源、DELTA Max バッテリーパック、DELTA Pro ポータブル電源、DELTA Pro バッテリーパック

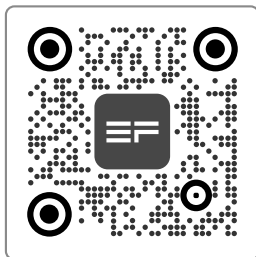
(DELTA Max を例とします)



DELTA Max バッテリーパックケーブルをポータブルクーラーに接続するだけです。ポータブルクーラーにバッテリーパックケーブルは付属していません。

DELTA Pro と接続して使用する場合、スマート発電機アダプターと DELTA Max 専用エクストラバッテリーケーブルが必要となりますが、ポータブルクーラーには同梱されておりません。

3.8 アプリの使用



EcoFlow APP

EcoFlow アプリを使用して、ポータブルクーラーやポータブル電源を制御、監視、カスタマイズできます。

<https://download.ecoflow.com/app> でダウンロード

プライバシーポリシー

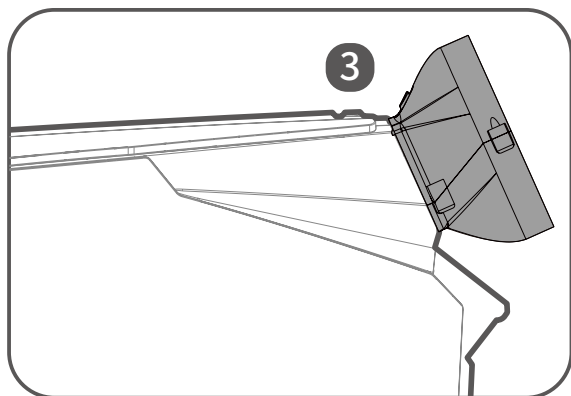
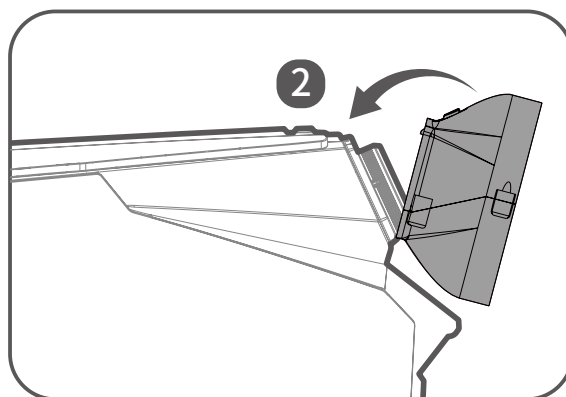
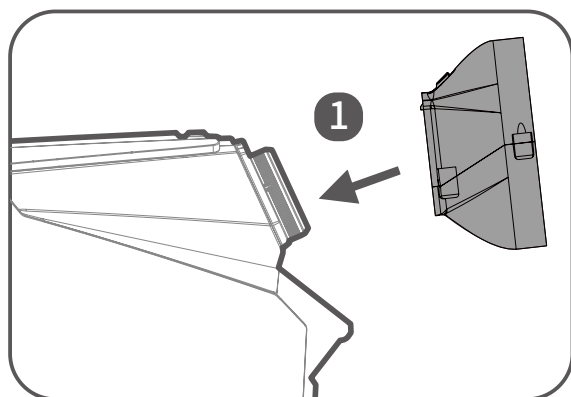
EcoFlow 製品、アプリケーション、およびサービスを使用することにより、EcoFlow の利用規約およびプライバシーポリシーに同意したことになります。これらのポリシーには、EcoFlow アプリの「ユーザー」ページの「About」セクションまたは EcoFlow の公式 Web サイトからアクセスできます。

<https://www.ecoflow.com/policy/terms-of-use> および

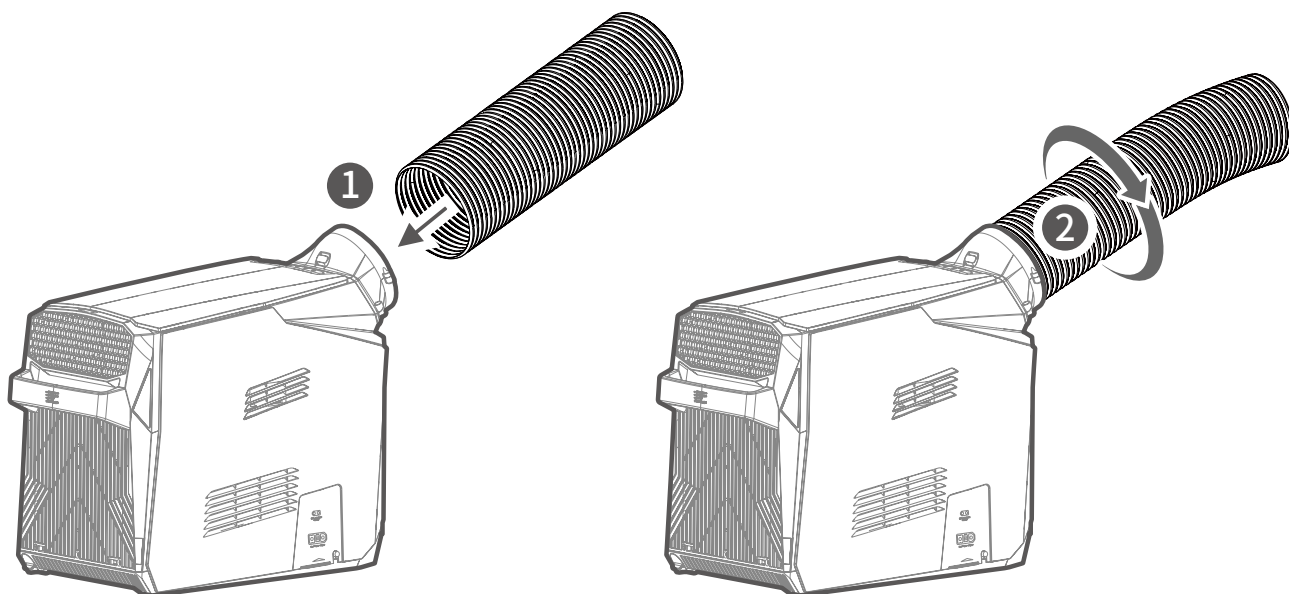
<https://www.ecoflow.com/policy/privacy-policy>

3.9 取り付け

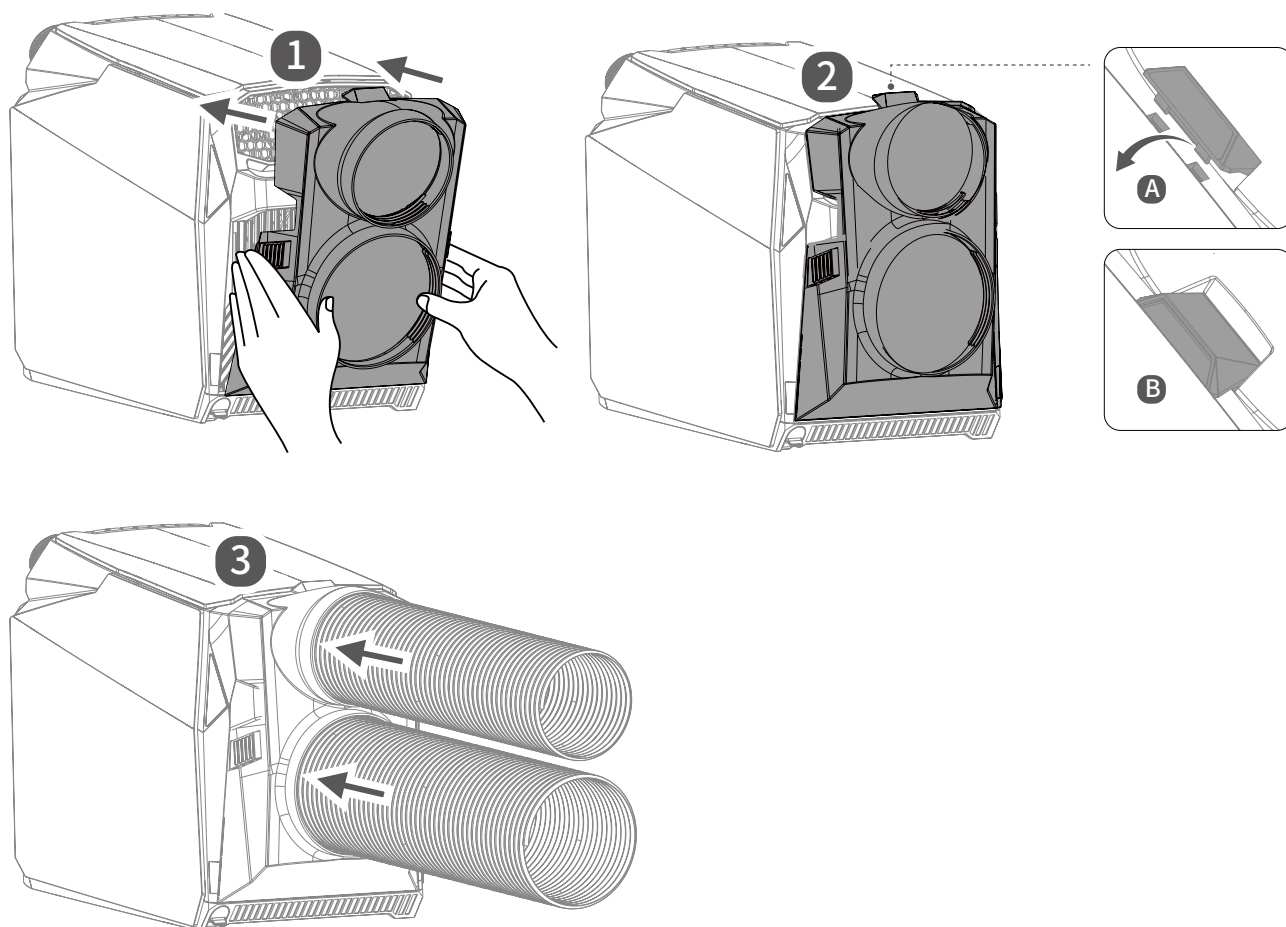
冷風側ファンカバーとダクトの取り付け



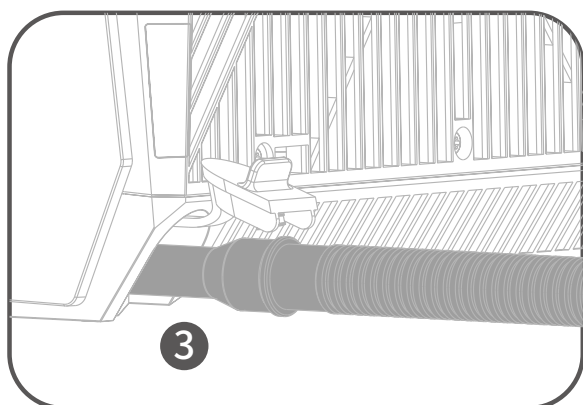
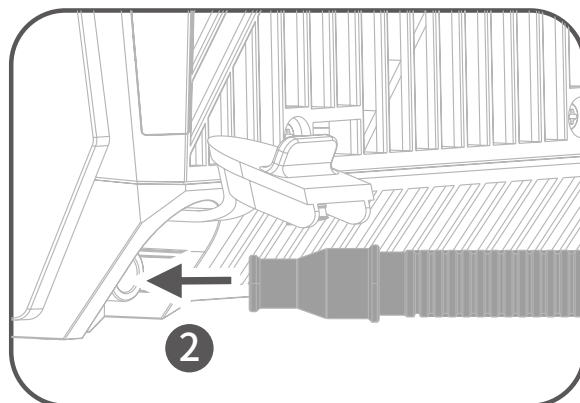
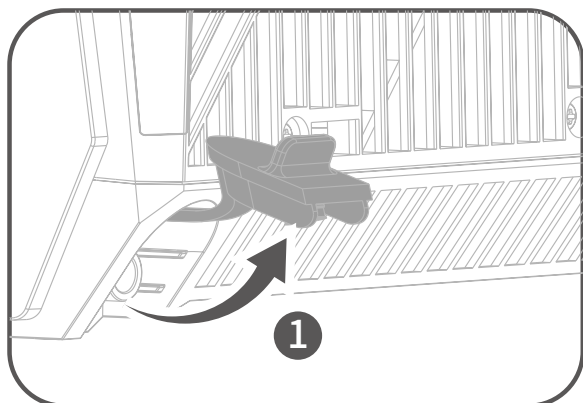
換気ダクトの設置



温風側ファンカバーとダクトの取り付け



排水チューブの取り付け

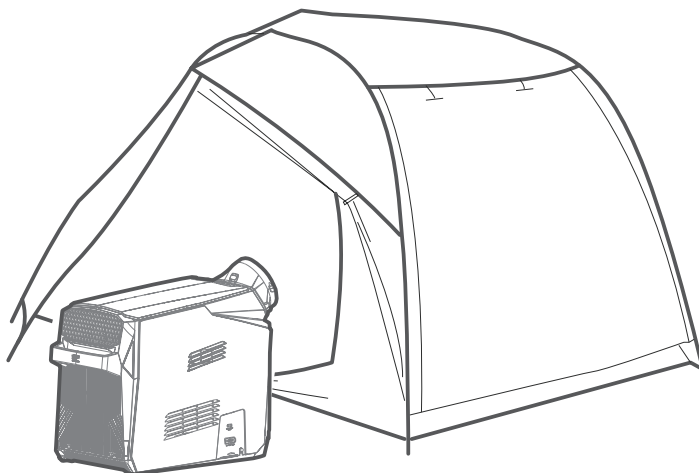


プラグを引き上げます
排水チューブを挿入します

3.10 使用例

テント

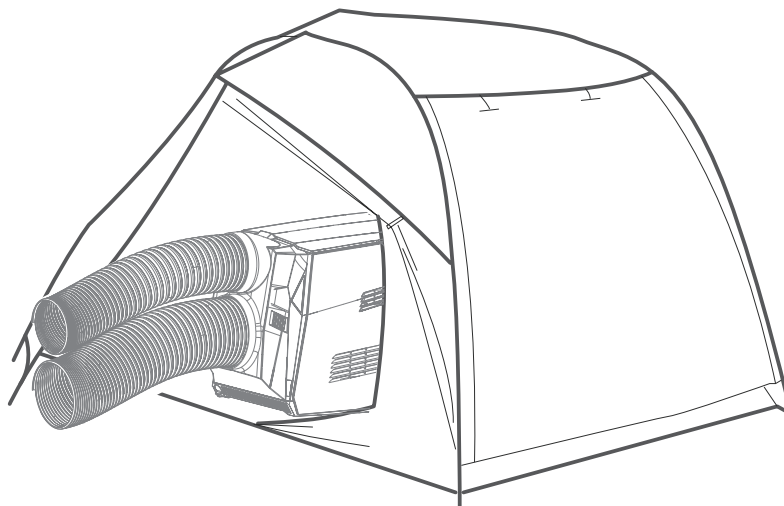
1. 冷風側がテントの内側に、温風側がテントの外側になるように、テントのジッパーの開口部に本機を設置します



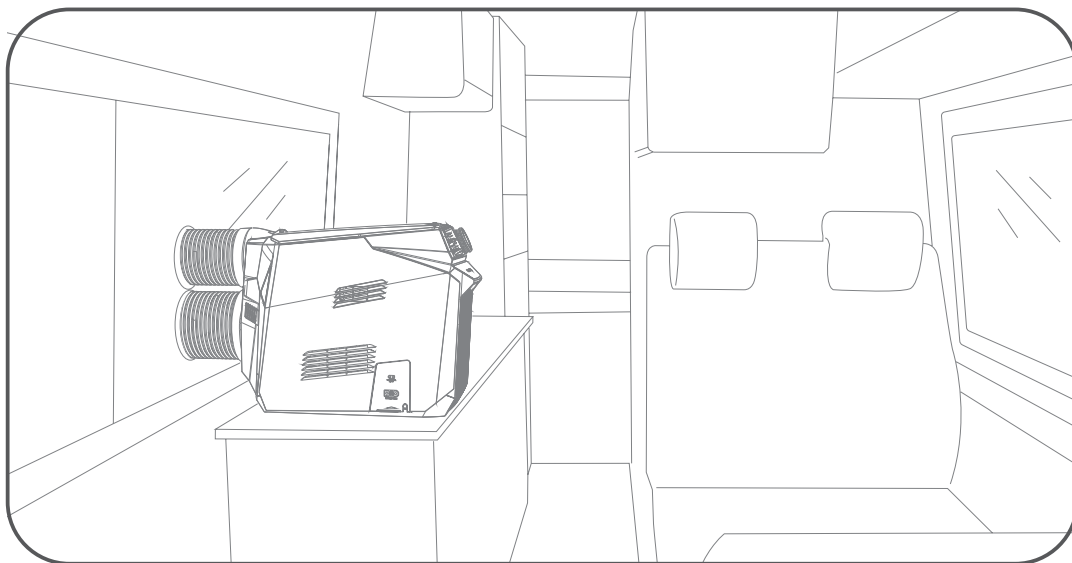
2. 本機をテントの外に設置し、冷風吹き出し口をテントの中に向けます



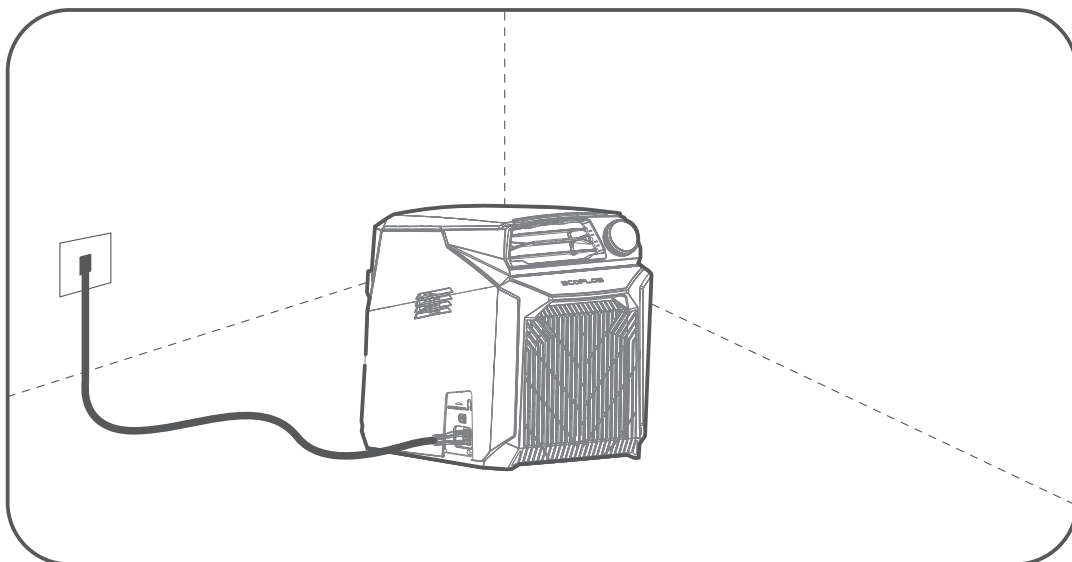
3. 本機をテントの中に設置し、温風吹き出し口をテントの外に向けます



RV



屋内 / キッチン



4. よくある質問

No.	質問カテゴリ	原因の分析	故障表示と対応方法
1	吹き出し口から送風がまったく吹き出さないか、少ししか吹き出さない	① 機器の電源が入っていないか、スイッチがオンになっていません。 ② 吸気口が遮られているか、ブレードがほこりをかぶっています。 ③ ファンが回転していません。	① 電源または接続を確認し、正しく電源を入れて、本機のスイッチをオンにします。 ② 吸気口から異物を取り除き、定期的にブラシでブレードのほこりをきれいにします。 ③ ファンを点検します（No.3を参照）。
2	ユニットが冷却しないか、性能が低下しています	① 冷却モードになっていません。 ② 周囲温度が既に設定温度になっています。 ③ 気温が使用可能な周囲温度の範囲外、または上限付近になっています。 ④ 本機が正しく取り付けられていないため、吸気口と吹き出し口が塞がれています。 ⑤ コンプレッサが作動していません。 ⑥ 冷媒の漏れ。 ⑦ キャピラリーチューブが詰まっています。	① 動作モードと温度が正しく設定されていることを確認します。 ② 取扱説明書の動作温度範囲を参照してください。周囲温度が高い場合に機器に高い負荷がかかり、冷却効果が低くなるのは正常です。 ③ 取扱説明書を参照して、エアコンが正しく設置されていることを確認してください。 ④ コンプレッサを点検します（No.4を参照）。 ⑤ コンプレッサが正常に作動している場合は、冷媒の漏れが発生しているか、キャピラリーチューブが詰まっている可能性があります。修理について、専門家にご相談ください。
3	ファンが回転していません	① ファンに不具合があります。 ② ファンの配線が外れているか、電源ケーブルが破損しています。 ③ ファンが損傷しています。 ④ メインボードが破損しています。	① 画面にエラーコードが表示されていないか確認し、故障を修正して再度運転を試します。 ② ファンの配線を点検します。 ③ ファンを交換して、ファンが損傷しているかどうかを確認します。 ④ メインボードを交換して故障があるか確認します。
4	コンプレッサが作動していません	① コンプレッサに不具合があります。 ② コンプレッサの配線が外れているか、電源ケーブルが破損しています。 ③ メインボードが破損しています。 ④ コンプレッサが損傷しています。	① 画面にエラーコードが表示されていないか確認し、故障を修正して再度運転を試します。 ② コンプレッサの配線を点検します。 ③ メインボードを交換して不具合があるか確認します。 ④ 上記の品目がすべて正常な場合は、コンプレッサ自体に問題がある可能性が高くなります。専門家に修理を依頼する前に、コンプレッサの巻線抵抗を点検することもできます。また、異常なノイズなどがないかも点検できます。

No.	質問カテゴリ	原因の分析	故障表示と対応方法
5	底から水が漏れています	① 本機が過度に傾いています。 ② 機器内部の水の流路が塞がれています。 ③ 内部ウォーターポンプが作動していません。 ④ 周囲湿度が高すぎる状態で、排水パイプが接続されていません。	① 機器の傾きは 15° 未満にする必要があります。 ② 内部に凝結水の流路を妨げる異物がないか確認します。 ③ ウォーターポンプが正常に機能していることを確認します (No.6 を参照)。 ④ 周囲湿度が高い場合は、結露が増加するため、排水パイプを接続して排水する必要があります。
6	ウォーターポンプが故障しています	① ウォーターポンプの配線が外れているか、電源ケーブルが破損しています。 ② メインボードが破損しています。 ③ ウォーターポンプが損傷しているか、ウォーターポンプのインペラが損傷しています。	① ウォーターポンプの配線を点検します。 ② メインボードを交換して不具合があるかどうかを確認します。 ③ ウォーターポンプまたはウォーターポンプのインペラを交換します。

使用上の考慮事項：

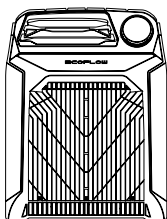
- クーラーの作動は、主に一方の側からもう一方の側への熱交換に依存します。冷却効果が低下するため、設置時に吸気口または吹き出し口を塞がないでください。
- 太陽光によって空間の温度が上昇し、冷却効果が低下する可能性があるため、冷却する領域は、5 m² 未満で直射日光が当たらない場所にするをお勧めします。
- クーラーは、エアダクトを使用してさまざまな場面で使用できます。エアダクトはできるだけ短く、曲がりを適切にして、過度の空気抵抗の発生を抑え、クーラーの効率に影響を与えないようにする必要があります。
- クーラーには、ドレンフリー機能を提供するためのウォーターポンプが内蔵されています。ただし、周囲の湿度が高い場合は、排水パイプを接続して排水する必要があります。
- クーラーは電源スイッチでオフにする必要があります。プラグを直接抜く、または電源をシャットオフしてスイッチオフするとクーラーの耐用年数が短くなる可能性があるため、避けてください。
- EcoFlow に付属している電源ケーブルは、クーラーの AC 電源ケーブルとして使用する必要があります。電源プラグはしっかりと差し込み、緩まないようにする必要があります。緩みがあると、接触不良が発生し、クーラーが損傷する原因になる可能性があります。
- コンプレッサの頻繁な停止と始動を避けるため、コンプレッサはスイッチがオフにされてから 2 分以上が経過してから停止するように設定されています。短時間のうちにオン / オフを切り替えたときに、コンプレッサが 2 分間作動しないのは正常です。
- クーラーはできるだけ水平に配置する必要があります。最大傾斜角 15° を超えることは推奨されません。超えた場合、システムの動作の信頼性が低下します。
- 作動中は雨や日光にさらさないでください。クーラーのコンポーネントが損傷するおそれがあります。

5. 故障表示と対応方法

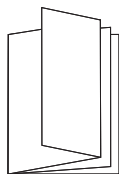
故障コード	故障名	解決法
5	ワイヤレスモジュールの故障	電源（バッテリーパックを含む）を外し、装置を再起動します
10-12	電気ドライブボードの故障	電源（バッテリーパックを含む）を外し、装置を再起動します。 問題が解決しない場合は、アプリを使用してシステムをアップグレードし、最新のファームウェアバージョンに更新されていることを確認します
20-35	配電板の故障	電源（バッテリーパックを含む）を外し、装置を再起動します。 問題が解決しない場合は、アプリを使用してシステムをアップグレードし、最新のファームウェアバージョンに更新されていることを確認します
40-44	温度センサーの故障	電源（バッテリーパックを含む）を外し、装置を再起動します
60	水位の故障	排水ポートを開いて排水し、機器を再起動します
61	冷風ファンの故障	電源（バッテリーパックを含む）を外し、機器を再起動します
62	温風ファンの故障	電源（バッテリーパックを含む）を外し、機器を再起動します
63 または 65	過熱防止	ホットゾーンの吸気口と吹き出し口に障害物があれば取り除き、機器を 5 分間置いた後で再起動します
64	過冷却防止	冷風の吸気口と吹き出し口に障害物があれば取り除き、機器を 5 分間置いた後で再起動します

注：上記の解決策を処理してもユーザーが障害を解決できない場合は、hello.jp@ecoflow.com に保守を依頼してください。

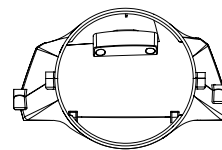
6. 同梱物



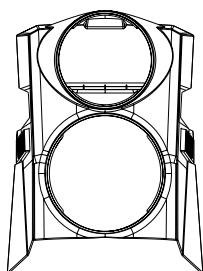
クーラー本体



取扱説明書、保証書、
アプリクイックガイド



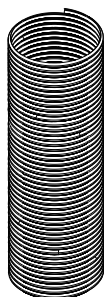
冷風吹き出し口カバー



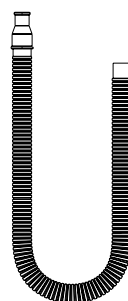
温風吹き出し口カバー



エアダクト（直径 13 cm、
長さ 100 cm）



エアダクト（直径 16 cm、
長さ 100 cm）



排水チューブ（直径 1.8 cm、
長さ 100 cm）

7. お手入れ

1. 保管のために本機をシャットダウンした後、ソケットカバーを閉じてほこりが入らないようにします。
2. 保管のために本機をシャットダウンした後は、長期間の保管中にバクテリアが発生しないように、また本機を移動したときに水がこぼれないように、機器内部から水滴を手動で除去する必要があります。
3. 本製品は、20 °C ～ 30 °C (68 °F ～ 86 °F) で使用または保管し、水や熱源、その他の金属類から遠ざけておくことをお勧めします。

≡C O F L O W